

新人看護師透析室実習

病棟に慣れてきた7月初旬、新人看護師を対象にした透析室実習が行われました。透析の必要性を理解し、病棟での看護に活かすという目的で行われています。4日間の実習の様子を紹介します。



実習内容

今年は、以下の6項目の実習を行いました。

関連図作成

患者様の情報について関連を示した図を作成しました。患者様の疾患、生活習慣などについて理解できましたか？



何が原因で症状が出現しているのか理解が深まりました。

問題点のプラン作成

患者様にとって何が問題なのかが見えてきましたか？



どんなことに気をつけて看護すべきかを考えることができました。

透析日、非透析日の関わり

病棟では見えない患者様のことが理解できましたか？



透析により引き起こされる合併症への対応を学ぶことができました。

シャントエコーの見学

血流量を測定しシャント管理を行う方法としてエコーが行われています。患者様のシャントトラブル（狭窄、再循環）がわかりましたか？



画像を見ながら説明され、わかりやすかったです。

圧迫の仕方

これで止血不良の人がいても大丈夫？自身がつかえましたか？



病棟でも止血不良の時の対応が不安でした。勉強になりました。

回路の仕組み

ルートがたくさんありますが、回路が組めましたか？



組み立ての指導を受けた後、回路組みができました。



実習を終えて



透析室の業務がどのように遂行されているのか理解できました。これからの看護に活かしていきたいと思います。(Aさん)

回路を実際にセッティングでき血液と透析液の流れ、機器の役割が理解できました。(Bさん)

